

2025 年 8 月 26 日  
西日本旅客鉄道株式会社

## JR 京都線 向日町駅 自由通路（西口）・橋上駅舎の一部供用開始 及び東口における再開発事業の工事着手について

西日本旅客鉄道株式会社は、向日市と当社の間で協定を締結のうえ、JR 京都線 向日町駅について、利便性向上を図るため、2022 年 12 月から駅改良工事を進めてまいりました。

このたび、2025 年 10 月 18 日から自由通路（西口）・橋上駅舎の一部（※第Ⅰ期工事範囲）の供用を開始しますので、お知らせいたします。

また、本工事とあわせて、駅東側からのアクセス改善と、まちの活性化や駅周辺のにぎわい創出を目指して、「JR 向日町駅周辺地区第一種市街地再開発事業」を再開発組合が実施し、東口の新設・駅前広場整備と住宅・商業ビルの建設などを行います。

このたび、関係者にて再開発事業の新築工事の起工式を行い、工事に着手いたしましたので、お知らせします。

### 1. 自由通路（西口）・橋上駅舎の一部供用開始

#### （1）供用開始日時

2025 年 10 月 18 日（土）始発から

※供用開始に伴い、既存駅舎は 10 月 17 日（金）終電後に使用を停止します。  
西口エスカレーター、柵内エスカレーター、柵内トイレにつきましては第Ⅱ期工事にて 2026 年度冬頃の供用開始を予定しております。



向日町駅 完成イメージ（西側から）

※西口エスカレーターは 2026 年度冬頃完成予定

#### （2）供用を開始する施設

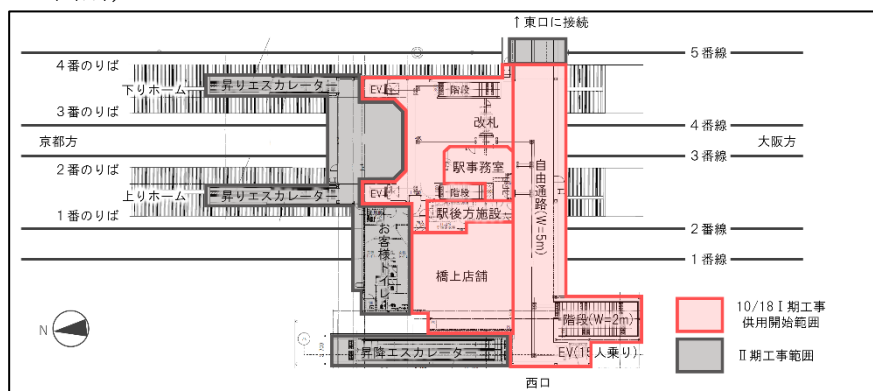
##### ①自由通路

幅員 5 メートルの歩行者専用通路（改札より西側の部分）

- ・西口：エレベーター 1 基、階段

##### ②橋上駅舎

- ・エレベーター 2 基（各ホーム 1 基）
- ・階段 2 箇所（各ホーム 1 箇所）
- ・自動改札 4 通路
- ・券売機 3 台
- ・店舗

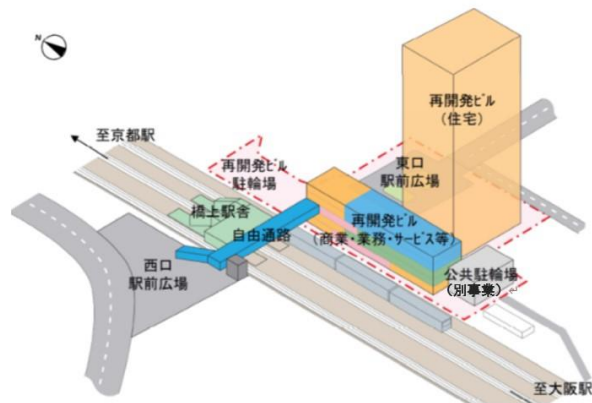


10月18日に供用開始する範囲（赤枠内：※第Ⅰ期工事範囲）

## 2. 東口における再開発事業の工事着手について

### ○事業概要

- ・ 地区面積 : 0.8ha
- ・ 施行者 : J R 向日町駅周辺地区市街地再開発組合
- ・ 主な施設 : 駅ビル棟: 鉄骨造 5 階建、延床面積 約 5,700 m<sup>2</sup> ※店舗等は計画中  
東口昇降設備 (自由通路利用者用) 階段・エレベーター・エスカレーター  
住 宅 棟: 鉄筋コンクリート造 38 階建、住戸数: 約 340 戸、高さ: 約 130m  
東口駅前広場: 約 2,400 m<sup>2</sup>
- ・ 設計・監理: 株式会社アール・アイ・エー  
施工 : 株式会社大林組 (住宅棟)、大鉄工業株式会社 (駅ビル棟)
- ・ 工事期間 2025 年 8 月 1 日～2028 年度 (予定)  
※2026 年度冬頃 一部供用開始 (向日町駅東口開設)



※ - - - で囲まれたエリアは市街地再開発事業で整備

イメージ図 (今後変更となる可能性があります)

(参考) 起工式の様子 (2025 年 7 月 18 日)



今回ご案内の取り組みは、SDGs の 17 のゴールのうち、特に 9 番、11 番、17 番に貢献するものと考えています。



JR西日本グループは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

